

創立100周年に向けて

For The Future

新中期経営計画がスタート

当社は2015年に創立100周年を迎えます。「ダントツのグローバルNo.1事業を擁する企業集団」、「社会の発展、人類の福祉、地球環境に貢献する企業」、「社員が創造力を発揮し、仕事に誇りを持てる企業」を目指して、今年度からの10年間を、3つの中期経営計画に分け、策定・実施していく予定です。

その第1ステージとなるのが、今年度からスタートした新中期経営計画です。新中期経営計画では、成長を重視した「攻めの経営」へ転換し、良好な市場環境を捉え、スタートダッシュによって事業の拡大・発展を加速します。基本方針及び数値目標は右記のとおりです。

これらの方針をより確実に実行していくために必要となるのが、企業力の一層の強化です。具体的には、人材、グループ経営、CS・ブランド、業務プロセス、B/S構造についての改革を推進します。また、3つの実行力（営業力、開発（創造）力、生産力）と企業力を全社横断的に展開しながら、重点方策の遂行を強化していき

ます。これらの取組みを通じて、経営の質を高めていきます。

なお、当社ホームページに、新中期経営計画「ダッシュ100」に関する資料を掲載しております。以下のアドレスをご参照ください。
http://www.yaskawa.co.jp/

----- 新中期経営計画の基本方針及び数値目標 -----

(1) 基本方針

- ◆ 真のグローバルNo.1事業の確立
- ◆ 新規事業の立ち上げ・育成

(2) 数値目標

	05年度実績	08年度計画
売上高 (億円)	3,229	4,000
経常利益 (億円)	243	400
株主資本比率 (%)	20.7%	30%

■ お問い合わせ先：経営企画室

Tel 093-645-8947 Fax 093-645-8948

陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/index.htm> で公開しています。

早春の2月、3月はロードレースやクロスカントリーのシーズンでした。各地で国際大会やハイレベルの大会が開催され、当社の選手も自己新記録など順調な走りを見せてくれました。

特に飛松選手は、陸上の格闘技と称されるクロスカントリーで活躍。福岡国際と千葉国際の2大会で上位に入賞。

結果、アジア地区で初めて開催された世界クロスカントリー選手権大会(4月1日/福岡市)の日本代表に選出され、130名が出場したシニア男子4kmの部で、67位(日本人6名中2位)と健闘しました。駅伝で登りのスペシャリストと言われる筋力とスタミナをクロスカントリーの舞台でも発揮しました。



世界クロスカントリー大会で力走する飛松選手

◆2006年2月～4月の主な戦績

日程	大会名	実績
2月12日	唐津10マイルロードレース(16.1km)	飛松選手5位、下森選手自己新記録
2月26日	鹿島祐徳ロードレース(10km)	下八重選手2位
3月5日	福岡国際クロスカントリー	飛松選手8位、小畑選手11位
3月5日	びわこ毎日マラソン	下森選手14位(自己新記録)
3月5日	玉名ハーフマラソン	福地選手9位、福島選手10位(自己新記録)
3月12日	全日本実業団ハーフマラソン	中本選手14位(自己新記録)
3月12日	ソウル国際マラソン	坂本選手12位(自己新記録)
3月19日	千葉国際クロスカントリー	飛松選手7位、小畑選手17位
4月1日	世界クロスカントリー選手権	飛松選手67位(日本人2位)

◆2006年新入部員紹介

氏名	出身	主な実績
久保田 大貴	熊本・鎮西高校	5000m 14分31秒19
植田 賢史	広島・西条農業高校	5000m 14分45秒44 06年 都道府県対抗男子駅伝 広島県代表

近年、当社の選手は大舞台で確実に実力を発揮できるように成長しました。さらに、2名の新人を加え、春のトラックシーズンでスピードに磨きをかけていきます。今後も安川電機陸上部の応援を宜しくお願いします。

選手の声：

今回出場して、あらためて世界のレベルの高さを体験しました。この世界のレベルに通用する力をつけて、また日の丸をつけて世界大会に出場することをこれからの目標にして頑張っていきます。
(飛松 誠)